

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY

大学礼拝

WORSHIP SERVICE

2010年
春季特別伝道礼拝特集号



CHAPEL NEWS

第113号

巻頭言

「七枝の燭台」



宗教部長
佐々木 哲夫

イスラエルの首都エルサレムの国会議事堂のそばにバラ園があり、そこに高さ五メートルほどのブロンズの燭台が建てられています。燭台の形状は、中央の主柱から左右に三本の支柱が枝分かれしているというものです。モニュメントです。から火は灯りませんが、先端は火皿になっています。燭台の側面に聖書のことば「武力によらず、権力によらず、ただわが霊によって、と万軍の主は言われる」（ゼカリヤ書四章六節）が刻まれています。これは、ゼカリヤに示された七枝の燭台の幻をモチーフとしたものです。二本のアーモンドの木と共に、この図像は、今日のイスラエルの国家的シンボルになっています。

さて、最初に七枝の燭台を作ったのは

モーセです。出エジプトとして知られているシナイ半島での荒野彷徨の時に、指導者モーセが神のことばに従って幕屋と呼ばれる移動式神殿を作りました。そこに七枝の燭台が備えられたのです。燭台の火は常夜灯として一晩中灯され、奴隷状態から自由になって故郷へ戻る喜びをイスラエルの民に実感させると同時に、神が彼らと共にいることの象徴となりました。故郷に戻ったイスラエルの民は、首都をエルサレムに定め、国を築き上げます。無論、七枝の燭台を備えた幕屋の神殿は彼らの中心的存在となりました。やがて、民たちは燭台の光にさまざまな思いを寄せました。たとえば、王ダビデは「主よ、あなたはわたしのもし火。主はわたしの闇を照らしてくだ

さる」（サムエル下二二章二九節）と感謝のことばをささげ、詩編記者は「あなたの御言葉は、わたしの道の光。わたしの歩みを照らす灯」（詩編二九編一〇五節）と歌いました。

七枝の燭台の火は、私たちにも思いを与えてくれます。たとえば、東北学院大学のモットーとされている聖句「あなたがたは世の光である」（マタイ五章一四節）を連想させます。礼拝堂とクラスで育まれる学生諸君が「世の光」であるならば、東北学院大学は「世の燭台」というわけです。



「時を用いる」

日本基督教団
富士見町教会牧師

倉橋 康夫



へ¹⁵ 愚かな者としてではなく、賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。

¹⁶ 時を良く用いなさい。今は悪い時代なのです。¹⁷ だから、無分別な者とならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。

(エフェソ五)

私たち人間は誰もが、自分に与えられた「時」との関係の中で生きています。その場合、第一には、流れ去っていく時間の中で、自分は今、どのような「時」に置かれているか、ということが問題となります。ここで、「時」に対する人間の態度には、二種類あります。毎年同じことの繰り返しと考えるのと、二度と繰り返されないと考えるのとです。前者は、循環する時の理解であり、後者は直線的な時の理解です。

確かに、一方には、毎年巡って来る「時」があります。季節や行事に類するものです。しかし、自分の歩みが毎年同じことの繰り返し、と考える場合には、自分の置かれている「時」に対していい加減となり、マンネリになりかねません。それに対して、繰り返しされることのない「時」の中にいる、と考える場合は、「時」に対して厳しく、且つ前向きにならざるを得ないでしょう。実際には、私たちはこの二種類の考え方の組み合わせた「時」の中に生きている、と思います。

さて、本日の聖書箇所では、自分の置かれている「時」について、もっと別の角度からの、根本的な捉え方が示されています。聖書は、自分の生き方を顧みて、〈時をよく用いなさい〉と勧めます。これは「時を贖い出せ、買い戻せ・取り戻せ」と訳すことができます。この場合、この「時」とは、神が備えて下さる・与えて下さる「時」を指します。従って、ここで勧められていることは、「時」について根本的理解を取り戻せ、ということなのです。過ぎ去った「時」を取り戻せ、ということではなく、「時」というものの本来の考え方を取り戻せ、ということなのです。

私たちは、神が与えて下さるかけがえのない「時」の中に生きているのです。そのことをしっかりとわきまえて生きるように、と勧めています。漫然と過ごすのではなく、自分の置かれている「時」と向き合って、積極的に生きるように、ということなのです。私たち夫々には、固有の事情があります。与えられた境遇や、環境や、条件や、チャンス等々です。それらは、「時」と深く関わり、結び合っているものです。それらは、「時」の具体的な形態と言っても良いでしょう。それらが、神がお与えになったかけがえのない「時」であり、そしてそれは神の恵みのみ手の内にある「時」であることをわきまえるなら、積極的に向き合うことができます。それが、「時を用いる」ということです。神の恵みのみ手から受け取る「時」の中に生かされることは、素晴らしいことだ、と思います。

◆倉橋康夫 先生

一九四四（昭和十九）年に生まれる。一九六七（昭和四二）年国立新潟大学工学部電子工学科卒業後、民間企業勤務。一九七一（昭和四六）年東京神学大学神学科卒業。一九七三（昭和四八）年東京神学大学神学科修士課程修了。一九七五（昭和五〇）年三月まで東京神学大学神学科博士課程。日本基督教団経堂北教会、大館教会、大曲教会、長崎古町教会を経て二〇〇二（平成十四）年富士見町教会主任担任教師に就任し現在に至る。倉橋先生には五月十二日（水）に泉キャンパス、十三日（木）に土樋キャンパス（朝）の礼拝をご担当いただきました。

「あなたは変われます」
ルカによる福音書 19章1-10節



日本基督教団
富山鹿島町教会牧師

小堀 康彦

私はまだ皆さんと同じくらしいの年齢だったとき、一つの映画を見ました。それは、一人のマフィアのチンピラが麻薬を売りさばきながら、成り上がっていくという映画でした。この主人公が成り上がっていくときに、①出世すること、②金持ちになって大きな家に住むこと、③美人の妻を持つこと、この三つを繰り返し語ります。彼は町のチンピラから、マフィアのボスに成り上がっていきます。そして、ついにこの三つを全て手に入れるのです。しかし、彼は幸せにはなれませんでした。そして彼は警察との銃撃戦の中で死んでいくのです。私はこの映画を見たときのショックを忘れられません。自分は、このマフィアのチンピラと同じだ。自分は何とつまらない人間なのだろうと思ったのです。

今、徴税人ザアカイの話をお読みいたしました。主イエスがエリコという町に入った時のことです。その町にザアカイという徴税人の頭がいました。当時のユダヤ社会の中で、徴税人というのは完全に差別の対象となっていました。普通のユダヤ人と一緒に食事をすることも禁じられて、裁判の証人としても認められていませんでした。同じユダヤ人でありながら、金の為に祖国を裏切り、民族を裏切った者。お金はある、しかし、人からは忌み嫌われていた人々です。そうまでして富を手に入れたいと彼に思わせたのは何だったのでしょうか。

そのザアカイが住むエリコの町に主イエスが来られました。ザアカイはイエス様を見る為に、いちじく桑の木に登ります。ここで、逆転が起こりました。ザアカイは主イエスを見ようとして木に登ったのですけれど、逆に主イエスの方がザアカイを見て、そして声をかけるのです。主イエスはザアカイを知っていたのです。それは、主イエスがこのエリコの町に来たのは、ザアカイを求めた為だからだと私は思います。神様によって造られたのに、自分が神様の似姿に造られたことを見失ってしまってい

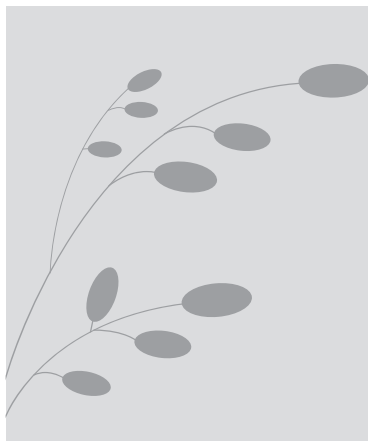
た人々。そういう人々を捜し出し、本当の自分を取り戻させる為に主イエスは来られたのです。今ここにたくさんの方が集まっています。しかし、この集会は「あなた一人の為に」開かれたものなのです。

主イエスはザアカイの家に泊まります。そしてザアカイは主イエスに言ったのです。「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。」今までのザアカイからは考えられないような言葉です。ザアカイは変わったのです。主イエスに出会い、ザアカイの中で大切なものが変わってしまったのです。ザアカイは自分の財産からも自由になったのです。それまでのザアカイにとって、お金や財産というものは、自分の劣等感を覆い、弱い自分を隠す鎧のようなものだったのではないのでしょうか。しかし、主イエスに出会って、そのようなものが必要ではなくなりました。そんなものより大切なことがある。神様に造られた者として正しく生きること。そんな人生の転換がここで起きたのです。私共の人生の本当の幸い、本当の生きる目的は、ここで与えられるのです。

◆小堀 康彦 先生

一九五六（昭和三二）年に生まれる。一九八〇（昭和五五）年横浜国立大学工学部卒業後、民間企業勤務。一九八三（昭和五八）年東京神学大学三年編入。一九八七（昭和六二）年東京神学大学修士課程修了。日本基督教団東舞鶴教会を経て二〇〇四（平成十六）年富山鹿島町教会に赴任し現在に至る。

その他、社会福祉関係の理事、教団・教区・地区各種委員を歴任。小堀先生には、五月十二日（水）に多賀城キャンパス、土樋キャンパス（夜）の礼拝をご担当いただきました。



各キャンパスのメッセージ

Izumi

泉キャンパス
大学宗教主任

永井 義之



入学時に渡された諸資料の中に「キリスト教活動のハンドブックQ&A」というA5判のパンフレットがあり、そのQ3に、「大学礼拝はどのように行われるのですか」という項があります。礼拝にも慣れてきたと思われるこの頃ですので、あらためて再確認をしてみましょう。

まず、前奏で礼拝が始まっておりますので入場してくるときは友人同士で話しながらではなく静かに入場しましょう。讃美歌はオルガンによって曲が前奏されますから、よく知らない曲も讃美歌を手にとつて歌ってみてください。

礼拝の終わりで頌栄の讃美歌の後、黙祷の時間がありますが短い時間ですので終わるまで動き出さないでください。ここまでで次の講義開始まで七〜八分の退場時間を取つて終えるよう考えていますので、ご協力ください。

Taqazyo

多賀城キャンパス
大学宗教主任

北 博



咲き誇っていた桜も終わりを告げ、青葉が目に見える頃となりました。爽やかな風が吹き、勉強にもスポーツにも一層力が入りますね。もつともこの時期は、慌しさが一段落したことによって、慣れから来る無気力に陥り易い時期でもあります。規則正しい生活とパランスの良い食事を取ることに心がけましょう。

東北学院大学は、キリスト教を建学の理念に掲げる学校です。毎朝礼拝があるのはそのためで、これは教育の重要な一環であり、その要石と言つても過言ではありませぬ。科学技術は人類に大きな貢献をして来ましたが、反面それは両刃の刃であり、使う人間の心のあり方によって良くも悪くもなります。礼拝やキリスト教の授業で、皆さんの心を磨いて下さい。

Touchitoui

土樋キャンパス
大学宗教主任

佐々木 勝彦



校門から右手の礼拝堂に入るとき、少し視線を上げてみてください。読みにくいかもしれませんが、何か文字が刻まれています。それに気づく人はほとんどいませんが、昭和七（一九三二）年三月一九日以来、じつそこに潜んでいます。卒業生の何人が、彼女の名前を記憶しているでしょうか。

『ピッツバーク市マリ工街六〇四三番地』に住むひとりの女性が、礼拝堂建築基金としてシュネーダー院長に「五万ドル」の小切手を手渡ししました。この献金によってできた礼拝堂それが「ラーハウザー記念礼拝堂」です。この金額は、今日の十億円に相当するそうです。

ところが、それほどの献金をささげたエラ・A・ラーハウザーは、ついにこの礼拝堂を訪れることがありませんでした。昭和四（一九二九）年十月二四日以来、世界恐慌が始まっていたからです。もしも彼女がいなかったなら、東北学院の「象徴」ともいべきカレッジ・ゴシック様式の礼拝堂は生まれませんでした。このように私たちの歴史はすべて、与えられて始まったのです。

◆サマー・カレッジ案内

豊かな自然の中で聖書のメッセージに学びながら学生・教職員相互の交わりを深める宗教部主催による恒例のサマー・カレッジは「秋保リゾートホテルクレセント」を会場に行ないます。今年度も以下の様々なプログラムを用意していますので、皆様ふるつてご参加ください。

- 日時
八月十一日（水）〜八月十三日（金）
- 会場
秋保リゾートホテルクレセント
- 主なプログラム
開会礼拝、主題講演、グループ討議
ソフトボール、音楽と黙想、閉会礼拝
- 対象
大学の学生・教職員
- 参加費
八〇〇〇円
- 締切日
七月三十一日（土）
- お早めにお申し込み下さい。（）
- 申し込み先
土樋キャンパス…本館二階宗教事務課
泉キャンパス…一号館二階庶務係
多賀城キャンパス…一号館二階庶務係
（参加費を添えてお申し込み下さい。）

編集後記

春季特別礼拝の特集号です。大勢の学生諸君が聞きに来てくれうれしく思っています。都合で聞けなかった諸君は紙面で講師の語られたことを読みください。また、他のキャンパスで別の講師の語られたものもその要旨が掲載されていますのであわせて、お読みください。（NA）

二〇一〇年六月 東北学院大学宗教部
〒九八〇一八五二
仙台市青葉区土樋一丁目三番一号